



Photo: みどうさん

6月の写真 「北海道の離島より」

函館、札幌、旭川、富良野…北海道と言えば数々の観光地が思い浮かぶと思いますが、一番のオススメは取巻の離島！人口4千人程度、1周52km程度の小さな島でゆったりとした時間を楽しめます。

※読者の方からの投稿です。ご提供いただき、誠にありがとうございます。

「今月の写真」投稿フォームはこちら

・コラム

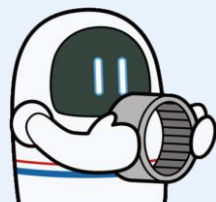
小さな一歩

先日のクイズアンケートに多くの方にご回答いただき、誠にありがとうございます。また、メールマガジンについてのコメントもたくさんいただき、大変励みになっております。そんなコメントの中で「社内報みただね」と言っていただけることが多いのですが、これは私たちにあって一番の褒め言葉。まるで当社のメンバーかのように、すぐ近くで楽しんでいただけているような気がして、とても温かい気持ちになります。そんな中、当社は最近の新しい楽しみとして、Instagramで社員の日常や製品の簡単解説をひっそり公開し始めています。まだ始めたばかりの小さなお庭のようなアカウントですが…より当社社員や当社製品について知っていただけたら、嬉しいです。お仕事の合間に、ぜひ覗きにきてくださいね。そして「見に来たよ!」の合図代わりに、気軽にフォローや「いいね」を残していただけたら、スタッフ一同とてもパワーになります!

Instagramアカウントはこちらから!



メールマガ担当 A



プライベートショー

IKO Today in SHINSHU 2026

信州エリア 初開催!!

2026年8月27日(木) 10:00~18:00 ※最終入場時間: 17:00 @茅野市民館



IKO Todayとは?

「首都圏の大規模展示会に足を運びづらい方にも、IKOの幅広い製品をじっくりとご覧いただくとともに、最新の成果などについてわかりやすくご紹介し、IKOについてもっと知ってもらいたい」

そんな思いのもと、日本全国を舞台にIKOが独自で開催を続けるプライベートショー『IKO Today』は毎回多数の方にご来場いただいております。今回は日本の精密テクノロジーを牽引する諏訪地域、その活性化の中核を担う信州・茅野の地で開催することとなりました。

ブースで体験できる4つのアクション

01

LOOK
&
FIND

最新の「動き」を目撃する

IKOのニードルベアリングから直動案内機器、メカトロシリーズまで一挙展示! お客様の課題を解決するメカユニットもご提案します。課題解決のヒントがここに。



02

WATCH
&
FEEL

圧倒的なパフォーマンスを見る

デモ機による実演を実施。IKO製品の幅広いラインナップが運動して生み出す、信頼の高精度・優れた位置決め精度・なめらかで精密な動きを、ぜひその目で直接ご確認ください。



03

TOUCH
&
TRY

構造の「真髄」を体感する

IKO直動案内機器の精度と滑らかさはどこから生まれるのか。組立体験で、そのメカニズムを自らの手で解き明かしてください。



04

ASK
&
MEET

作り手に直接相談する

ブースには当社の設計・開発者が常駐。製品の裏側にある設計思想から、貴社が抱えるリアルな技術課題まで、直接ご相談いただけます。



プライベートショー開催の詳細はこちらから!

▼ 岐阜県発・バイオマス由来の環境価値を活用します

当社は、2050年度のカーボンニュートラル実現に向けた新たな取り組みとして、バイオマス発電を活用した「オフサイト型バーチャルPPAサービス」の導入を開始しました。今回活用するのは、岐阜県美濃加茂市にある「美濃加茂バイオマス発電所」で生み出される環境価値です。この発電所では、これまで十分に使われてこなかった未利用間伐材などを燃料にして、再生可能エネルギーを生み出しています。

詳しくはこちらから！

■ 森に眠る資源が、再エネの価値に

未利用間伐材とは、製材に使えない細い木や枝葉など、これまで未利用のまま残されていた木材のこと。つまり、森の中に残されていた木材が、環境にやさしいエネルギーの価値へと生まれ変わるといことです。本来なら廃棄される木材を有効に活用できるだけでなく、森林整備の促進や森林保全にもつながります。森を守りながら、再生可能エネルギーを増やしていく。そんな自然と共生する取り組みです。



■ 岐阜で生まれた環境価値を、

岐阜のものづくりへ

当社グループは、国内生産拠点を岐阜県内に構えています。今回、同じ岐阜県内で創出される環境価値を活用することで、地産地消型の環境価値利用が可能となります。地域の資源から生まれた環境価値を、地域のものづくりに活かす。この循環は、脱炭素への一歩であると同時に、地域とともに未来へ進む取り組みでもあります。



■ 年間約2,055t-CO2の削減へ

今回の契約により、同発電所から創出される環境価値のうち、年間約5,000MWh相当分を約17年間にわたり取得します。これにより、当社グループの温室効果ガス排出量を年間約2,055t-CO2削減できる見込みです。

また、2022年度実績に対し、約6.4%の温室効果ガス排出量削減と、約8.1ポイントの使用電力の再エネ化率向上も見込んでいます。当社はこれからも、「社会に貢献する技術開発型企業」として、環境負荷の低減に配慮した再生可能エネルギーの活用を進めてまいります。

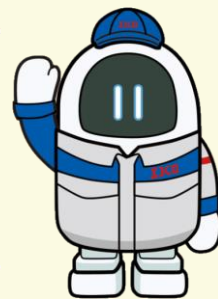
森のチカラを未来へつなぎ、持続可能な社会づくりに貢献していく。そんな一歩を、岐阜県から踏み出しています。

温室効果ガス排出量を

年間
約**2,055t-CO₂**
削減

2022年度実績と比較して

- ✓ 約**6.4%** 温室効果ガス排出量削減
- ✓ 約**8.1ポイント** 使用電力の再エネ化率向上



日本トムソン株式会社



■ ホームページ
<https://www.ikont.co.jp/>



■ お問い合わせ先
<https://www.ikont.co.jp/ikohp/inquiry/index.html>

IKO ヘアリング通信 / ひつじ雲

バックナンバー
はこちらから!!

